Institute for International Studies and Training (I.I.S.T.)
(Branch: EU-Japan Centre for Industrial Cooperation)

Procurement documents

Contracting authority:
Institute for International Studies and Training (I.I.S.T.)
(Branch: EU-Japan Centre for Industrial Cooperation)

Procurement name:
FY2018/FY2019
Japanese Language School for Vulcanus in Japan Programme
2018-2019, 2019-2020

Procurement reference number	002-WP5-18
Type of procurement procedure	Open tender
Code name	Business Support Services
Type of procurement contract	Services Contract
Name of the responsible person of the contracting authority	Yuko TACHIBANA

日欧産業協力センター
ヴルカヌス・イン・ジャパン　プログラム **2018** 及び **2019**

日本語研修業務委託に関する一般公募について

（4 ヶ月間の集中日本語研修）

日欧産業協力センターは経済産業省と欧州委員会及び日・EU 双方の経済界の支援を得て、日・EU 間の産業協力を担う中核的組織として 1987 年に設立され、研修事業や情報提供事業等を実施しております。

事業の一環として、将来の日欧ビジネス関係を担う人材の育成を図るため、欧州の理工系大学生を対象とした 4 ヶ月間の日本語研修と 8 ヶ月間の企業実習を行うインターンシッププログラムを実施しております。このプログラムは 1997 年よりスタートし、今年度で 21 年目を迎えました。2018 年度及び 2019 年度の本プログラムを実施するにあたり、日本語研修の業務委託（2018 年 9 月～12 月及び 2019 年 9 月～12 月までのそれぞれ 4 ヶ月間）に関し一般公募を致します*。

つきましてはご関心の向きは下記に基づき、プロポーザル（見積書を含む）をご提出いただきたくご案内申し上げます。

*2018 年度において、業務内容及び結果に、弊センターの求める内容と著しく差異が生じた場合、2019 年度の委託を取消させて頂くことがありますのでご留意願います。

記

事業名：ヴルカヌス・イン・ジャパンプログラム
日本語研修実施期間：
① 2018 年 9 月から 12 月までの 4 ヶ月間
② 2019 年 9 月から 12 月までの 4 ヶ月間
対象研修生：EU 加盟国の理工系大学生および大学院生 30 名（暫定数）
日本語研修プロポーザル：

1. 仕様： 別紙のとおり
2. 書式： A4 用紙を使用の上、日英いずれかの言語で作成・提出をお願い致します。
3. 提出期限： 2018 年 2 月 16 日(金)まで （郵送の場合は当日消印有効）
   選考後、入札決定校にご案内を送付致します。
   尚、ご提出いただくプロポーザルは返却致しません。他の目的に使用することは致しませんので、予めご了承願います。
4. 提出および問い合わせ先：
   日欧産業協力センター　ヴルカヌス・イン・ジャパン 担当者宛て
   E-mail: VinJ@eu-japan.gr.jp
   〒108-0072　東京都港区白金 1 丁目 27-6 白金高輪ステーションビル 4 階
   Tel: 03-6408-0281/ Fax: 03-6408-0283

選考スケジュール：

2018 年 2 月 16 日	応募（プロポーザル提出）締切り
2 月下旬	選考結果案内
3 月上旬～6 月上旬	入札決定校との日本語研修に関る詳細打合せ
7 月	日本語研修業務委託契約の締結（2019 年度の契約は 2018 年プログラム終了後）
9 月	日本語研修開始（2019 年度も同様）
12 月末	日本語研修終了（2019 年度も同様）

日欧産業協力センター

ヴルカヌス・イン・ジャパン　プログラム 2018 及び 2019

日本語研修プロポーザル仕様

『ヴルカヌス』とは、ラテン語で鍛冶屋の神様を意味します。このプログラムは「鉄は熱いうちに打て」の格言のとおり、日欧のより良い架け橋を築くため、今後の日欧産業協力関係を担う若人を育成するものです。1 年間の研修を通して、日本語や企業研修においての先端技術やグローバルビジネスに不可欠なビジネス慣習の習得だけでなく、日本ビジネスの背景にある文化や風習、人々の考え方を理解することも、このプログラムの大きな目的の一つです。

１．日本語研修前提条件

・対象研修生（EU 加盟国の理工系大学生）が日本企業で受ける 8 ヵ月（1 月から 8 月）の実習を行う際、意思疎通を図れる日本語能力を達成する。

目安：JLPT 日本語能力試験 N4/旧 3 級合格レベル

１）日常会話の習得

２）会社でのコミュニケーションを円滑にする表現の習得

３）既習者に関しては、企業研修に使用する専門用語等の習得

・言語の学習を通じて日本文化の理解・習得ができること

２．研修生

・EU 加盟国の理工系大学生および大学院生 30 名（暫定数）

３．日本語研修期間

・16 週間　（約 300 時間程度）

① 2018 年 9 月 5 日から 12 月 19 日（予定）

② 2019 年 9 月 4 日から 12 月 20 日（予定）

・1 日 5 時間、授業開始は 9:00～9:30

・日本語研修終了時には、参加者による個別日本語プレゼンテーションを行い、研修成果を発表する。

４．クラス数

・初心者クラス：

1 クラス当り 6 名程度

日本語の学習経験がないもしくはほとんどない学生が対象

・既習者クラス：

来日前に 150 時間程度の日本語履修者に対しては別途カリキュラムを用意（既存のコースへの編入等）

５．講師

・講師の人数

コースディレクター1 名：当プログラムの運営を取り仕切る現場責任者

初心者 4～5 クラス：　1 クラスにつき講師 1 名以上

既習者クラス：既存のコースへ編入する場合には、学校のシステムに準ずる

・講師資格

日本語教師有資格者で経験年数 7 年以上

教育分野での日本語教師以外の教育経験者歓迎。

企業勤務経験者・海外生活経験者歓迎だが、英語その他外国語が話せることは必須条件ではない。

6．研修実施場所

教室として最低5部屋が必要

7．日本語研修業務委託契約：

日本語研修業務委託契約期間については4ヶ月間とする。

8．プロポーザルに含める項目：

A) 見積書 (総額および内訳・消費税含む)

・コースデザイン料・管理費（授業料に含まれる場合はその旨を記載）

・授業料
- 初心者クラス授業料@時間当たりの単価 × 300時間 × 25人
- 既習者クラス授業料@時間当たりの単価 × 300時間 × 5人

（暫定数）

・教材費

・文化課外学習費　（学生の交通費は含まない）

・センター主催の日本関連講義（全6〜7回を予定）及び日本語最終発表会の教室使用費（研修生全員収容可能な教室）

・その他経費（挙げられる項目はなるべく列挙すること）

B) 日本語研修プログラム

・達成目標（認識および使用可能語彙、文型、機能等の数や種類、その他について具体的に記載のこと）

・教育方法（教授法、学生へのアプローチ、背景理論等について具体的に記載のこと）

・具体的な教案サンプル（課題：初めて動詞を導入する際の教案2時間分）

・使用予定の教材・副教材（教材名およびその選択理由について）

・カリキュラム（50時間ごとでの授業の流れ）

・標準的な授業内容の流れ（1日5時間分）

・担当講師数、研修期間中の変更の有無

・日本文化理解のための課外学習案（具体的に内容と選んだ理由・目的を記載のこと。この活動時間数は300時間に含める。何時間含めるかは各校のカリキュラムに依る）

・既習者向けのカリキュラム案

・来日前の日本語習得学習ターゲットを具体的に提示すること

C) 日本語学校概要および実績

・書式自由

なお、実績については、EU加盟国及び理工系の学生を対象とした研修を実施した経験があればそれを含めて記載

・使用教室のセキュリティーに関して、安全性を証明する証明書及び、災害非常時の避難誘導等の対応マニュアルを提示

9．予算

本事業にかかる予算は学生1名に対し385,000円（税込）を見込んでおります。